

厄年について

厄年は、人の一生の中でも様々な災難にあいやすい年と言われています。現在は負の側面が強いですが、本来厄年は、晴の年齢と考えられてきました。厄年になるということは、地域社会において一定の地位を得ることを示し、宮座への加入や神輿担ぎを行うなど、事に多く関わるようになります。このため、心身を正常に保ち、言動を慎む行動をする必要があったわけです。数え年では、新年を迎える正月に年を取ることで正月に厄払いを受けることが多いです。厄年の年齢になりましたら、厄払いや厄除けのご祈願を受けましょう。

令和六年 厄年表

男性		
前厄	本厄	後厄
24歳 <small>(平成13年生)</small>	25歳 <small>(平成12年生)</small>	26歳 <small>(平成11年生)</small>
41歳 <small>(昭和59年生)</small>	42歳 <small>(昭和58年生)</small>	43歳 <small>(昭和57年生)</small>
60歳 <small>(昭和40年生)</small>	61歳 <small>(昭和39年生)</small>	62歳 <small>(昭和38年生)</small>
女性		
前厄	本厄	後厄
18歳 <small>(平成19年生)</small>	19歳 <small>(平成18年生)</small>	20歳 <small>(平成17年生)</small>
32歳 <small>(平成5年生)</small>	33歳 <small>(平成4年生)</small>	34歳 <small>(平成3年生)</small>
36歳 <small>(昭和64/平成元年生)</small>	37歳 <small>(昭和63年生)</small>	38歳 <small>(昭和62年生)</small>
60歳 <small>(昭和40年生)</small>	61歳 <small>(昭和39年生)</small>	62歳 <small>(昭和38年生)</small>

※数え年は、誕生日前の場合には2歳、誕生日を迎えている場合は、1歳を足して計算します。